



令和7年2月21日
北九州市都市整備局

報道機関各位

今年も「こくらさくらまっぷ」を配布します！

～紫川^{といるざくら}十色桜をはじめ「さくら」が小倉のまちなかを彩ります～

小倉城周辺、勝山公園、紫川沿いといった小倉のまちなかには、ソメイヨシノだけでなく、個性豊かな「さくら」が、植えられています。河津桜の開花を皮切りに2月下旬から4月上旬までさくらの花を楽しむことができます。

多くの市民や観光客の皆さまが、“こくら”の“さくら”を楽しむきっかけとなるよう、今年も「こくらさくらまっぷ」を作成しました。

「こくらさくらまっぷ」を片手に、小倉の春を満喫しませんか！

記

【小倉城とさくら】



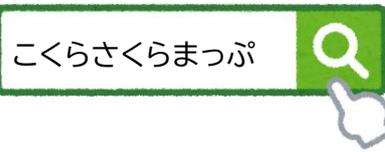
- 1 配布開始 令和7年2月26日（水）から配布
- 2 配布部数 計5,500部（無料配布 無くなり次第終了）
- 3 配布施設 北九州市総合観光案内所（JR小倉駅3階）
小倉城 小倉城庭園 しろテラス
勝山公園グリーンエコハウス
松本清張記念館
北九州市平和のまちミュージアムなど 13か所で配布
※各所とも配布数には限りがあります。

- 4 ホームページ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/05900114.html>

こくらさくらまっぷ



小倉のまちなかの桜情報が満載！



★紫川^{といるざくら}十色桜とは…「紫川10橋」の橋詰広場に、花色や匂いなど特に珍しいさくらを植栽しています。

- 5 その他 ご自身のスマートフォンで現地のサクラの木に下げているQRコードを読み取り、地域情報ポータルサイトG-motty（ジモッティ）版の「こくらさくらまっぷ」をご覧ください。目のあるサクラの品種を調べながら、お花見を楽しむことができます。

【お問い合わせ先】

都市整備局みどり公園課（TEL：093-582-2460）担当 課長：高尾 係長：西井田（さいた）



令和7年

こくらさくらまつ

小倉のまちなかでは春の訪れと共に様々な桜が競う様に咲き、勝山公園や紫川沿いを彩ります。
「こくらさくらまつ」を片手に歩いてみませんか？

「小倉城の桜」

1632年、将軍徳川家光から九州陸大名監視という特命を受けた譜代大名の小笠原忠真が小倉城に入城しました。このころの小倉城は全国でも珍しく「桜の城」であったとの記述があります。当時、桜は戦の際に薪として使用できたため城に植えることが許されておらず、多くの城ではおろしか植えられていませんでした。このことは、幕府から九州探題としての役割を持った小倉藩が特別な立場であったことを物語っています。



桜に囲まれた小倉城は、一番のフォトスポット

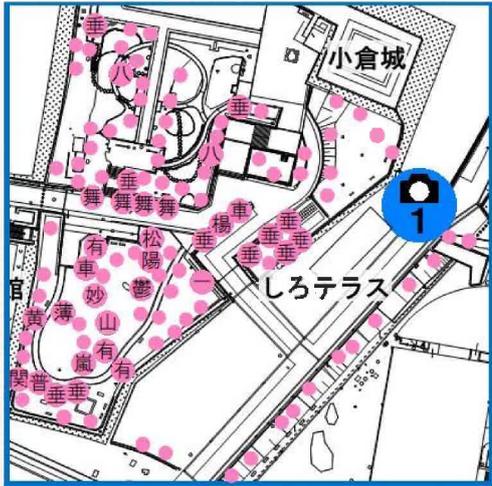


こくらさくらまつQRコード



川沿いを一足先に彩る「修善寺寒桜」

小倉城周辺詳細図



八重咲きの「舞姫」と白色の「白雪」の競演



小倉の春を最初に告げる「河津桜」



紫川沿いの桜並木は散歩におすすめ



他とは異なる花色が目玉の「鬱金」

- 八重紅大島 (ヤエベニオオシマ)
- 八重紅枝垂 (ヤエベニシダレ)
- 山桜 (ヤマザクラ)
- 嵐山 (アラシヤマ)
- 有明 (アリアケ)
- 一葉 (イチヨウ)
- 鬱金 (ウコン)
- 紗白妙 (シロタエ)
- 御車返し (ミクルマガエシ)
- 楊貴妃 (ヨウキヒ)
- 関山 (カンザン)
- 御衣黄 (ギョウイコウ)
- 松月 (ショウゲツ)
- 普賢象 (フケンゾウ)
- 兼六園鞠桜 (ケンロクエンキウザクラ)

- 河津桜 (カワツザクラ)
- 椿寒桜 (ツバキカンザクラ)
- 寒緋桜 (カンヒザクラ)
- 修善寺寒桜 (シュゼンジカンザクラ)
- 支那寒桜 (シナミザクラ)
- 海猫 (ウミネコ)
- 陽光 (ヨウコウ)
- 江戸彼岸 (エドヒガン)
- 枝垂桜 (シダレザクラ)
- 大島桜 (オオシマザクラ)
- アメリカ
- 染井吉野 (ソメイヨシノ)
- 天の川 (アマノガワ)
- 薄墨 (ウスズミ)
- 白雪 (シラユキ)
- 舞姫 (マイヒメ)

● 見どころ

紫川十色桜

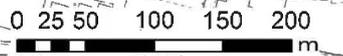
紫川に架かる室町大橋から豊後橋にかけて、それぞれの橋のたもとに概ね下流から上流にかけて順に開花するよう10種類の桜を植えています。

小倉城の花見ルール

- 小倉城周辺をはじめ勝山公園は、**全面、火気使用禁止**です(電磁調理器等を含む)。
- 小倉城天守閣広場の閉門時間は**夜10時**です。閉門前に退場してください。

お花見のマナー

- ・小倉城周辺の歴史資産や樹木等を損傷しない
- ・他の利用者に迷惑となる行為をしない
- ・密を避け、譲り合って花を楽しむ
- ・ゴミは各自持ち帰り、公園内に放置・散乱させない



北九州市

4月

八重紅大島 ヤエベニオオシマ   **八重紅大島**の花が八重咲き、淡紅色に変化した品種といわれていますが、'大島桜'と'里桜'が交雑してできたものであるという説もあります。'大島桜'と同様に潮風に強いという性質があります。

八重紅枝垂 ヤエベニシダレ  京都の平安神宮に1895年、仙台市長であった遠藤康治が献上したのもといわれています。別名の'遠藤桜'は明治年間に遠藤が仙台市内に植えたためといわれています。

中旬

山桜 ヤマザクラ  本州、四国、九州、朝鮮半島に分布する野生種です。成木の成葉裏面が帯白色になる特徴があります。品種として葉、葉柄、小花柄などに毛がある薄山桜が知られています。

4月

嵐山 アラシヤマ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種で、ウィルソンが荒川堤からPrunus lannesiana f. ranzan の名で報告したものはこの品種と同一といわれています。

有明 アリアケ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花には極めて強い芳香がありますが、その程度は個体により差があります。'千里香'に似ています。

4月

一葉 イチヨウ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花の中にある1本の雌しべが葉化する花が多いことからこの名がつけられました。

中旬

鬱金 ウコン  淡黄緑色の花色が、ウコンという植物の根茎を使って染めた色(鬱金色)に似ていることからこの名がつけられたといわれています。'御衣黄'とは系統的に近縁で、'御衣黄'の枝変わりによって鬱金型の花を咲かせる枝を生じた例も発見されています。

白妙 シロタエ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。

御車返し ミクルマガエシ  昔、この花をみた一人が八重の花だとい、別の一人は一重だとい、争論となり車を返してみたところ八重と一重が混ざっていたところからこの名がつけられたといわれています。

楊貴妃 ヨウキヒ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。昔、奈良にあった名木といわれ花色も優れた豊富な八重桜ということから、中国の楊貴妃を連想して世人が名づけたといわれます。

4月

関山 カンザン  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花色が濃紅色で美しく、成育もよいので海外でも広く栽培されています。また、お祝いの席で出される桜湯にはこの花の塩漬けが用いられます。

御衣黄 キョイコウ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。緑黄色の花色が特異なため、古くから栽培されていたものといわれています。

中旬

松月 ショウゲツ  花の中心部は白色に近い淡紅色で外側の花弁ほど紅色が濃くなります。この微妙なグラデーションが好まれ、桜の愛好家に人気がある品種です。

下旬

普賢象 フゲンゾウ  東京の荒川堤で栽培されていた品種で、その名は室町時代から知られています。葉化した花の雌しべを普賢菩薩が載っている象の鼻や牙に似ていることから、この名がつけられたといわれています。

4月下旬

兼六園菊桜 ケンロクエンキクザクラ   原木は金沢市・兼六園にあり国指定天然記念物でしたが1970年に枯死しました。現在は接木増殖したものが公園内に植えられています。慶應年間(1865~1868)に孝明天皇より前田中納言に賜ったものといわれ、一名'御所桜'ともいわれています。

※開花時期は、一般的に示されている時期であり、地域・気象条件により違いがあります。

河津桜 カワヅサクラ  原木は伊豆半島の河津町・飯田典延邸にあり、'寒緋桜'と他種(大島桜?)との雑種と推定されます。河津町では、川沿いに多く植えたものが2月上旬から約1ヶ月以上にわたり開花し、観光名所となっています。

椿寒桜 ツバキカンザクラ  原木は愛媛県松山市居格町・伊予豆比古命神社(椿宮)に栽培されており、'支那実桜'と'寒桜'または寒緋桜の雑種と推定されています。

寒緋桜 カンヒザクラ  中国南部、台湾に分布し、沖縄の石垣島、久米島でも見られますが、このものは本来の野生であるかどうかは不明です。寒い頃から紫紅色の花を咲かせることからこの名がつけられました。この桜と日本産の桜との交雑によりカンザクラ系統の諸品種が生まれました。

修善寺寒桜 シュゼンジカンザクラ   原木は伊豆半島の静岡県伊豆市・修善寺境内にあり、'寒緋桜'を片親とする雑種と推定されます。もう一方の親は'大島桜'と推定され、早咲きの桜の中では大木になる品種です。

支那実桜 シナミザクラ  中国原産で明治初年に渡来したといわれ、中国では果実が食用として販売されており、品種も多数あります。樹幹に気根が出やすいという特徴があり、この性質は雑種にも現われやすく、この桜との雑種から生じた'椿寒桜'や'初御代桜'などにも気根がみられます。

海猫 ウミネコ  '豆桜'と'大島桜'の交雑種でヨーロッパで普及しています。枝は上に向かってのび横にあまり広がらず、ワインカップに近い樹形と表現され、狭い庭にも適しています。

陽光 ヨウコウ  愛媛県東温市の高岡正明が世界平和を願い、'天城吉野'に'寒緋桜'を交配して作出した品種で、世界各地に配布されています。1981年に桜として初めて種苗法に基づく品種登録がなされました。

江戸彼岸 エドヒガン  本州、四国、九州に分布する野生種。東京方面で多く栽培され彼岸の頃に開花するのでこの名がつけられました。花柱基部、小花柄、葉柄などに毛が多く、がく筒がつぼ形であるという特徴があります。

枝垂桜 シダレザクラ  江戸彼岸の枝が枝垂れたもので、平安時代から栽培され、寺社などでは老木が多く見られます。'枝垂桜'と呼ばれるものの中には複数のクローンがあり、個体によって花の色や大きさに変異が見られます。

大島桜 オオシマザクラ  伊豆諸島に分布する野生種。房総半島や伊豆半島南部にみられるものは薪炭用に栽培されていたものが野生化したものと言われます。サトザクラ類に含まれる多くの品種のもとになった桜といわれ、他の桜との交雑によって生じたと思われる品種が多数知られています。

アメリカ  ワシントンで栽培されている'染井吉野'の実生から選抜されたとも、米国・カリフォルニア州在住の植松三代作が同州サンノゼ市で発見したのから作出したのもといわれています。

染井吉野 ソメイヨシノ  江戸時代末期に江戸染井村(現東京都豊島区)の植木屋が「吉野桜」として売り出したと伝えられています。'大島桜'と'江戸彼岸'の雑種と推定され、本来の吉野桜との混同を避けるために'染井吉野'と名づけられました。

天の川 アmanoガワ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。枝が上向きに伸びて円柱状の樹形になるので狭い庭にも適しています。

薄墨 ウスズミ  もと東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花柄などに毛が多く、大型の苞を持つ時点で'白雪'に似ていますが、花弁の形や葉などが異なります。

白雪 シラユキ  この桜は1886年に78品種が荒川堤に植えられたときの台帳にはなく、1909年4月14日に三好学が発見し命名したものです。小花柄や花柄に毛があり、また円形で大きな苞があることが特徴です。

舞姫 マイヒメ  '八重紅枝垂'の種子から生まれた品種で、八重咲きの桜としては珍しく葉が出る前に花が咲き、樹全体が花で覆われる觀賞性が高い桜です。寿命が長く、病気に強いエドヒガン系の品種のため、てんぐ巢病にも罹り難いと推察されます。

各サクラの写真、説明文:「公益財団法人日本花の会」